第６８号　２０１２年３月３１日発行

都高Ｐ連会報

発行　：　東京都公立高等学校ＰＴＡ連合会（都高Ｐ連）
編集　：　都高Ｐ連・調査広報委員会
事務局　：　〒167-0052　東京都杉並区南荻窪 4-29-10　田丸ビル 205 号
ＴＥＬ　：　03－5941－5067　　ＦＡＸ　：　03－5941－5068

第62回全国高等学校ＰＴＡ連合大会　和歌山大会
全国大会向けプロジェクトチーム発足
都立板橋高校へ、直撃インタビュー

3月10日、朝は小雪の舞う中、和歌山大会に向けての意気込みをインタビューするため都立板橋高校に訪問しました。

板高シンポジウム

昨年度から『学校（教員）・生徒会・ＰＴＡ』の三組織で、アンケート等を用いながら、お互いのコミュニケーションを図るシンポジウムを年５回開催しているそうです。その結果、子どもとの世代間のギャップ、親たちの思い、また先生方の考えなど、お互いの距離が少しずつ近くなり、さらに風通しも良くなったと伺いました。

胸章の復活

印象的だったのは、一度制服が廃止になった後、無くなってしまっていた胸章をＰＴＡの力で復活させたと言うお話。80年の歴史がある母校に、誇りを持って欲しいという思いの詰まった、撫子とペンがモチーフの校章を象った胸章。「今では、胸章はＰＴＡからの入学のお祝いなの」と説明されるＰＴＡ役員の方々の笑顔がとても素敵でした。

和歌山大会に向けて

学校・生徒会・ＰＴＡの三位一体となる活動が、和歌山大会の分科会テーマである『学校教育とＰＴＡ』にとってもマッチしています。ＰＴＡ発信により、変わっていく学校、そして生徒も変わっていく。ＰＴＡとして、どのような変革をしていったのか、和歌山大会での発表が大変楽しみとなりました。

古山校長、副校長、生徒会長、ＰＴＡ役員という強力な体制となったプロジェクトチーム

インタビューの様子
全国大会出場の準備に向けて、熱い思いで語るプロジェクトチーム

第 62 回全国高等学校ＰＴＡ連合会大会
和歌山大会

（和歌山大会事務局より大会ロゴ使用許可済み）

○日程
H24. 8. 23(木)～8. 24(金)

○メインテーマ
和をもって響き合え！

○サブテーマ
～つれもて広げる　共育の輪～

○第１分科会テーマ
学校教育とＰＴＡ
～社会性を身につけ「生きる力」を育む教育と PTA 活動～

平成24年度　会長選挙

平成24年３月７日、国立オリンピック記念青少年総合センターにて平成24年度会長選挙が実施されました。今回の立候補者は、23年度会長を務めた西部南地区の南村和良氏ひとりだけで、信任投票の結果、24年度も引き続き南村氏が都高Ｐ連の舵取りを行なっていくことが決まりました。

23年度においては、とくに広報と委員会活動の充実、地区Ｐへの活動支援など一定の成果を上げながらも、「まだ取り組み途上にある」というのが南村氏の判断です。２期目となる24年度で、より一層の活動充実をめざします。

南村和良氏

信任投票結果

- 全投票構成数　65 票
- 有効投票数　64 票
- 無効投票数　1 票
- 信任投票数　64 票
- 不信任投票数　0 票

※過半数は 32 票となり、信任されました。

投票中の単Ｐ会長さん

～　目次　～

P1　板橋高校　直撃インタビュー／会長選挙
P2～P3　東日本大震災
大山高校　自衛官の講演会／メッセージ作り
富士森高校　震災地での演奏／義援金
P4～P5　第３回全都会長会／東京地区大会のお知らせ
P6　中部北地区　賀詞交歓会
P7　西部北・南地区　合同情報交換会
P8　GATE 映画鑑賞会／高校生ものづくりコンテスト
今後のスケジュール

都高Ｐ連・中部北地区協賛

東日本大震災　復興支援活動
福島原子力発電所災害に派遣されて大山高校ＰＴＡ講演会

大山高校ＰＴＡ会長
葉木沢　浩子

1月14日（土）午前10時から大山高校視聴覚ホールにおいて、陸上自衛隊化学学校渡辺3等陸佐を講師にお招きして、「福島原子力発電所災害に派遣されて」という題目で講演をして頂きました。この講演会は、都高Ｐ連・中部北地区協賛講演会として、中部北地区の学校からも保護者の方の参加がありました。

渡辺3佐は、発災直後の3月19日から47日間、陸上自衛隊の化学職種の幕僚として、使用済み核燃料プールへの放水及び除染（車両や人に付着した放射性物質を水で洗い流す事）を担当していました。渡辺3佐は、被災した福島第1原子力発電所へ4回立ち入り、現地を確認しています。

講演会の最後には、「放射性物質を洗い流した水はどうしたのか」「福島の野菜等は食べて大丈夫なのか」等活発な質問が参加者からあり、「放射性物質を洗い流した水は集めて保管している」「野菜は検査して出荷しているし、表面についている放射性物質は洗えば安全です」との的確な回答がありました。

参加した保護者からは、「高校生の自分の子供にも聞かせたかった」「日頃聞けない貴重な話しを聞けて良かった」との感想がありました。

まだまだ、福島第1原子力発電所の事故収束には時間がかかると思います。これからもＰＴＡとして、ひとりの人間としてこの講演会を聞きながら何か協力出来ることはないかと考えさせられました。

講演会に対して質問する保護者（高田さん）

左から、渡辺3等陸佐
葉木沢ＰＴＡ会長

東日本大震災　復興支援活動
被災地に応援メッセージを届けよう！
都高Ｐ連・災害復興対策委員会

災害復興対策委員会では、東日本大震災の被災者に対し、息の永い継続できる復興支援の取り組みをめざすべく検討を続けてきました。そのひとつが、応援の一言を添えた手作りクッキーを被災地に届けようという活動です。

昨年5月から手作りクッキーとメッセージを現地に送る活動を続けている東大和高校ＰＴＡ・ＯＢを中心に構成した『スイーツの会』の代表、内田裕子さんをアドバイザーに迎え、まずはクッキー作りのトライアルを実施しました。

2月11日、東大和市中央公民館に集まった参加者は、災害復興対策委員会のメンバーを中心に7名。生地づくり、オーブンでの焼きを経て乾燥させ、作ったクッキーは全部で650枚程度。それを3枚1セットにして袋詰めし、メッセージシールを貼り付けて200袋のメッセージクッキーを仕上げました。

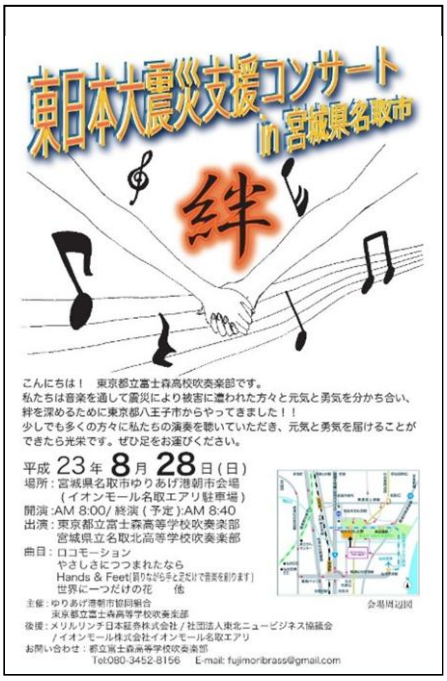
生地づくりからダンボールへの梱包を含めると3時間。1つひとつをアドバイザーにしっかり確認しながらの作業でいたが、予想以上のスピードでした。クッキーの味も上出来（大きな間違いがない限り、大抵はおいしくできます）。

この日に作ったメッセージクッキーは、スイーツの会の届け先に合流し、3月11日、福島県いわき市で行われる震災関連行事で配布してもらうことになりました。

今後、都高Ｐ連で作成するメッセージの届け先に関しては、被災県の単位ＰＴＡを予定しており、現在、岩手・宮城・福島の高Ｐ連に検討を進めてもらっています。

甘い香りがする中で黙々と作業

袋に一言メッセージを貼り付ける



東日本大震災　復興支援活動

被災地に響く絆のメロディ

音楽は心をつなぐ！― 第２弾

富士森高校吹奏楽部

前号（第67号）で、昨年の夏に被災地入りし、復興支援コンサートを開催した富士森高校吹奏楽部の取り組みを紹介しました。その後、同校から現地でのコンサートや地元中学校との交流、ポスターやコンサートでの配布物などの写真を送っていただきましたので、今回は富士森高校吹奏楽部シリーズの第２弾として、写真を中心に紹介いたします。

写真掲載にご協力いただいた**吹奏楽部顧問の田戸正彦先生、ダンス部顧問の神田まり子先生、並びに学校関係者の皆さま**に心より感謝申し上げます。

コンサート当日、来場客に配布したうちわ。部員の手書きのメッセージが添えられている

コンサート終了後に地元の閖上（ゆりあげ）中学校の吹奏楽部と合同練習。同校との交流は今も続いている

2011 年 8 月 28 日、コンサート会場となった宮城県名取市の漁港で熱演する富士森高校吹奏楽部

東日本大震災の義援金について(全高Ｐ連)

全国の公立高校単位ＰＴＡ、ＰＴＡ連合会から社団法人全国高等学校ＰＴＡ連合会に寄せられた義援金の累計額は、平成 24 年 1 月 17 日現在で、

１１１，８９１，９５１円

となりました。

第１次配分として昨年６月、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県の５県ＰＴＡ連合会に、第２次配分として昨年９月、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、長野県、新潟県の７県ＰＴＡ連合会に渡されました。最終的には第３次配分まで実施される予定です。

都高Ｐ連では、義援金を随時受け付けております。
詳しくはホームページをご覧ください。

義援金で震災遺児や被災校を支援

都高Ｐ連や全国の県連を通し全高Ｐ連に集められた義援金は、被災県の高Ｐ連に配分され、県高Ｐ連から震災遺児や被災校への支援金として支給されています。

どんな状況下においても、子どもたちの次代を担うに足る育成環境を保証していくのは、私たち大人全員の責務です。被災地の復興は何年かかるかわかりません。義援金活動もまた継続していくことが求められています。

都会長会

国立オリンピック記念青少年総合センター

平成24年2月12日に、臨時総会が国立オリンピック記念総合青少年センターで開催されました。

臨時総会

間近に迫った来年度の副会長選出を速やかに行うための会則改正を審議する臨時総会です。

去る、平成22年11月2日運営委員会において、副会長選挙の廃止を決定し、かつ同運営委員会にて副会長規定が削除されました。そのため、副会長選挙に関わる会則の改正が必要となりました。

提出された議案

議案1　第6条2
議案2　第10条
議案3　第10条2

審議の結果、1～3号議案すべて、出席者の3分の2以上の賛成が得られ可決しました。改正された条文は左記のとおりです。

議案	条文	現行	改正後
1	第6条2	会長および副会長は、選挙当日の加盟高等学校の現職 PTA 会長から選出する。 以下省略	会長は、選挙当日の加盟高等学校の現職 PTA 会長から選出する。 以下省略
2	第10条	前条の規定に基づき、会長または副会長の解任があったときは、選挙規定に基づき選出するものとする。 以下省略	前条の規定に基づき、会長の解任があったときは、選挙規定に基づき選出するものとする。 以下省略
3	第10条2	地区長、理事、評議員並びに監事を解任した地区ＰＴＡ連合会は、速やかに後任者を選出し、本会に届けなければならない。	副会長、地区長、理事、評議員並びに監事が欠員となった場合の後任者選出は細則による。
	付則		平成24年2月12日改正　同年2月13日施行

可決された会則改正の議案

会則改正の審議中

キャリア教育の推進についてのお願い

東京都教育庁指導部
主任指導主事　藤井氏

キャリア教育は、こ数年、文部科学省がこ大変力を入れて取り組んでいる教育です。中学校では職場体験として3日から1週間、近所の商店や会社に行き職場体験をしたり、高校に入るとインターンシップとして行われています。

キャリア教育とは、子どもが一人一人が社会的・職業的な自立に向けて必要な能力や態度を育てること目的とした教育です。次代を担うのは子どもたちです。学校の目的は、将来の社会を生き抜く方法を教えることです。

ニート・フリーターと言葉が話題になり、子どもたちの将来の目的を明確に学校教育の中で教えることが大切と、キャリア教育が始まりました。

キャリア教育には既存の教科はありません。また、キャリア教育という授業や教科書もありません。

どういう風に教えるかというと、学校という狭い社会ではなく、地域や家庭で見守り関わっていくことです。働く事の大切さ等保護者の考え方が、子ども達の人格形成やキャリアに大きな影響を与えると言われてます。

保護者は地域で働く職業人であり、地域に色々なネットワークを持っている。そう言った意味でも、学校と地域の方や保護者が連携を取っていけば、子供達の良き先生になると考えています。

教育庁では、地域の方や保護者の方々が学校で活躍できる専用プログラムを開発していまして、学校は学校にとかく、保護者と思われがちですが、学校の先生を受け入れ、学校教育を行っていきたいと考えています。

プログラムの中には研修を用意していますので研修でノウハウを取得したうえで、学校で活躍して頂きたい。

東京都教育委員会としても、今後キャリア教育については勢力的に進める予定ですので、ご協力頂きますよう、よろしくお願いします。

都立高校改革推進計画について

東京都教育庁都立学校教育部　都立高校改革推進担当課長　星　政典氏

2月9日に都立高校改革推進計画第1次計画が策定されました。当日は概要について、教育庁都立高校改革推進担当課長星様にご説明頂きました。

昨年9月に発行致した『都立高校白書』では、都立高校が今どのような状態にあるか、を明らかにしました。解決すべき課題は何か、都立高校生の学力や体力、規範意識、職業的自立意識、教員の資質

第３回全

平成 24 年 2 月 12 日

能力、学校の経理体制等多方面にわたる課題が浮き彫りとなりました。これらの都立高校に対する期待にこたえるため、課題を解決するために、個々の生徒に着目していきます。生徒一人一人の能力を明らかにして、伸ばす教育を実践していく方針を固めました。

新社会人として自立した人間の育成を大きな目的として新たな都立高校改革推進計画・第１次実施計画を策定しました。

内容については、東京都教育委員会ＨＰに掲載されています。

アドレス：
http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2012/02/70m29100.htm

真剣な眼差しで聴講

都立高校改革についての質疑応答

質問　少子化となれば、希望した人は全員入学できるので、そのままの規模を維持して頂きたいと思うのですが、そういった論議はあったのか。

答　東京は半数が私立高校。事前に、都立学校と私立学校が協議をし、学級数を決めている。受け入れる生徒が減ったので、学級数の少ない学校がいくつかできてしまう。そこで学校数を減らすことになった。18～24クラスを適正と考えている。

質問　教員の年齢構成で、44歳以下の教員が少ないのはどうしてか。私立との関係はどうか。

答　子どもの数が増えた時、それに合わせて教員を採用している。その後子どもが減ったので採用が減った。今現在は、退職される先生が増えたので、若い先生が増えてきている。ベテランの先生の指導スキルを若い先生にどのように伝えるかが課題になっている。若い先生に理解が得られる研修を考えている。

質問　公費による海外留学の規模、期間、単位の取得についてお聞きしたい。

答　留学の事前に講習を受け、一定の目的を持って留学する。行ったときにも、都教委が世話、大学とも連携し、日本に戻った時に困らないようにする予定。

情報交換会

テーマごとに、３つのグループに分かれて、情報交換を行いました。

［テーマ１］雨天時のカッパ置き場

◎カッパ置き場のある学校は無。

◎カッパ置き場を作っても、盗難の心配があり管理できない。

◎自転車置き場に屋根のある学校は多くなっている。屋根にカッパをかけるフックを作成し、かけられるようにしてはどうか。

［テーマ２］自転車事故

◎王子総合高校開校１年目にして、３件の事故。生徒がすべて悪いわけではないが、大人に対してきちんと説明できない。

◎深沢高校今年１年から３件の事故。狭い道路のすれ違いざまの事故が多い。補償制度の申請書類が複雑。

［テーマ３］都立高校改革

◎大学の９月入学について、都立高校はどのように対応するのか。

◎大学との連携はどうなっているのか。また、就職についてはどうか。（企業の求める人材）

◎教員の年齢層に偏りがあるが、是正することを考えているのか。

◎キャリア教育の講師は研修を受けて資格を取るシステムになるのだが、身近な講師（友達の親等）だからこそ、良い面があると思う。研修を受けなければいけないとなると、今までのような知らない人の講話になってしまう。どうしても研修を受けなければいけないのか。

◎全体として、どんな子どもを育てたいのか。

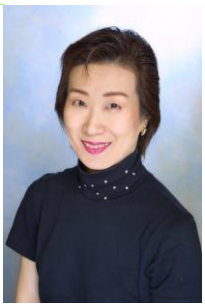
以上の質問事項は、都教委にお尋ねいたしました。**回答は、ホームページに掲載予定です。**

複数のチームに分かれて、活発な情報交換をしました

講演・講師

鞠村奈緒さん（元宝塚歌劇団）

１９７９年に宝塚歌劇団65期生として入団、１９９５年の退団まで星組でご活躍されました。現在も童謡コンサート、昔話の朗読を通して、時代が変わっても大切な何かを、次の世代に伝え続けています。



高校生舞台発表・展示

当日は舞台上で合唱やダンス、会場内では茶道、華道、書道などの生徒の活動発表を行う予定です。

☆お知らせ☆

第 24 回東京地区大会
高等学校ＰＴＡ連合会大会

テーマ　　和をもって響き合え！
「親から子へ」～未来につなぐ～

平成 24 年 7 月 14 日（土）
13:00～16:00（予定）星陵会館

中部北地区
賀詞交歓会

平成２４年１月２７日（金）
サンシャイン６０

平成 24 年 1 月 27 日、サンシャイン 60 にて、中部北地区賀詞交歓会を開催しました。各校から、校長、副校長、ＰＴＡ関係者が参加され、総勢 80 名の規模となりました。メインイベントでは、恒例の学校紹介があり、笑いが絶えない会となりました。その様子を写真でご紹介します。

永井地区長

飛鳥高校

王子総合高校

北園高校

田柄高校

農芸高校

井草高校

大泉高校

５８階からの夜景

豊島高校

文京高校

板橋高校

大山高校

鷺宮高校

練馬工業高校

武蔵丘高校

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。

再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って！」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を
少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで
地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元の子どもたちの明るい笑顔を力にして
私たちは これからも、未来を育む活動をつづけていきます。

MS&AD 三井住友海上
三井住友海上火災保険株式会社
www.ms-ins.com

西部北・南地区
合同情報交換会

平成２４年１月９日（月）
立川グランドホテル

平成24年1月9日（月）、立川グランドホテルにて西部北・南地区の合同情報交換会が開催されました。活発な両地区の活動を象徴するように、当日会場に集結した単P役員および理事は西部北地区が40名、西部南地区が28名の計68名。大盛況の中でのスタートとなりました。

羽生田西部北地区長、渡辺西部南地区長の挨拶の後、８つのテーブルに分かれて情報交換会を開始。あらかじめ用意されたテーマは「本部役員の選出方法（他薦、自薦）や人数について」、「委員会（理事会、常任員会）の構成メンバーと回数など」、「ＰＴＡ活動に対する交通費の支給について」、「学校行事とＰＴＡの関わり方」など。とくに事前テーマにこだわらず、集まった各校の悩みや課題を出し合い、各校のやり方と知恵を出し合うというように進められました。

交換会の後、各テーブル代表者の発表があり、共通していちばん多かった悩みは会計処理です。「ＰＴＡ会費をどう集めるか」「交通費をどう支給するか」「総合補償の加入の仕方」「通信費は払うのか」「非会員が亡くなった場合、香典を出すのか」など。各校がよりよき解決策を見出すためには、都高Ｐ連レベルでの情報交換が必要との声が聞かれました。

他に、雨ガッパの置き場に困っているＰＴＡが多いこともわかりました。雨天時に傘を差して自転車に乗ることは道路交通法で禁止され、生徒はカッパを着用するしかないのですが、ほとんどの学校にはカッパ置き場が設置されていません。自転車事故の急増はすでに社会問題となっており、都高Ｐ連としても大きなテーマとして取り組んでいく必要があります。

８テーブルに分かれて活発な情報交換会が行われた

AIUの高校生総合保障制度
（こども総合保険）

私共AIUは、日本で営業を開始して早や64年が経ちました。
学校・PTAを通じた保障制度にも25年以上ものあいだ積極的に取り組み、おかげさまで
全国22,000校以上(※)の学校・PTAにて学生総合保障制度をご採用いただいております。
（詳細は引受保険会社へお問い合せ下さい。）

社会貢献事業
「高校生国際交流プログラム」
（※）2009年度弊社加入データ調べ

〈引受保険会社〉
AIU保険
CHARTIS

首都圏第一営業本部
〒105-0004
東京都港区新橋5-11-3新橋住友ビル6F
TEL 03-5473-3601
午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）
http://www.aiu.co.jp

SOMPO JAPAN

ひとりひとりの
“社会や環境を想う気持ち”の輪が広がっています。

損保ジャパンでは、独自のＣＳＲ・環境マネジメントシステム
“Ｅーことプロジェクト”や“Ｅーことｃｓｒポイント制度”を実施。
全国の保険代理店と協働で「グリーン購入」にも
積極的に取り組んでいます。
これからも、社会や環境を想うひとりひとりの
「取り組みの輪」を広げていきます。

株式会社 損害保険ジャパン
〒160-8338　東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL. 03(3349)3111
http://www.sompo-japan.co.jp

GATE 映画鑑賞と意見交換会を終えて

平成 24 年 1 月 11 日
国立オリンピック記念青少年総合センター

1月11日マット・テイラー監督をお迎えし「GATE」映画鑑賞と意見交換会を実施しました。都高P連として、この行事を実行した理由は3つあります。

1つ目は、高校PTAの必要性と意義、意味、役割、子どもに対する影響力を考えるきっかけ作りの場を提供すること。

2つ目は、PTAとして、東京都教育ビジョンの重点施策26に対して何等かの役割を担う組織活動が出来ないかと考えたこと。

そして3つ目は、日本の僧侶たちが世界最初の原爆実験が行われた「トリニティーサイト」までの砂漠、山、250以上の街を越え灼熱の中2500キロを祈りながら行脚し、目的地に向かうドキュメンタリー物語であったことです。

マット・テイラー監督

この映画を見た後、監督を交えて意見交換を行いましたが、その場にいた誰もが自分たちに出来ることを模索し行動に移そうと思ったと言っても過言ではない、そんな感動がこの映画には有ったように思いました。

大勢のギャラリー

ぜひ単Pや地区の研修会などで子どもたちを交えて映画鑑賞や意見交換会を実施頂き、互いの意見を交わし成長に繋げて行っていただければと思います。マット・テイラー監督も時間が合えば気軽に来日していただけるので、皆さん、ぜひ素敵な時間を共有してください。

因みに私は長崎にある「原爆の火」を子どもと一緒に見に行こうと思います。

司会：渋谷副会長

即席サイン会

記　副会長　渋谷

第 11 回高校生ものづくりコンテスト全国大会（東京大会）

平成 23 年 11 月 19 日・20 日
都立城東職業能力開発センター及び都立葛西工業高等学校

社団法人　全国工業高等学校学校長協会主催、東京都立工業高等学校PTA連合会後援で開催致しました。

若者の製造業離れが進み、「ものづくり」技術・技能の継承が危ぶまれているなか、持続的な発展を維持するために、産業の発展を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することを目的に実施しました。

当日は全国から工業系の研鑽を積む高校生が一堂に会して、旋盤作業・自動車整備・電気工事・電子回路組立・化学分析・木材加工・測量の7部門に分かれて、技術・技能を競い合いました。熱気にあふれたコンテストは大成功で閉会致しました。

記　工芸高校
PTA会長　武内

写真提供：荒川工業高校

今後のスケジュール

4/20(金)　第４回運営委員会
5/11(金)　新旧運営委員会
5/18(金)　新旧全都会長会

都高Ｐ連　事務局メールアドレス
jimukyoku@tokoupren.org

都高Ｐ連　ホームページ
URL　www.tokoupren.org

平成２３年度　都高Ｐ連スローガン

原点から見つめる子どもたちと私たち